

令和7年度 大阪市職員人材開発センター及び総務局人事部人事課研修関連業務
に係るプロポーザル審査方法及び審査基準

【審査方法】

- 1 審査は、令和7年度 大阪市職員人材開発センター及び総務局人事部人事課研修関連業務（公募型プロポーザル方式）事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）の委員が行う。
- 2 全ての企画提案書について、【審査項目・審査基準】に基づき各委員において採点を行う。
- 3 2の採点結果に基づき、次の(1)～(3)で最も優れた提案者を選定する。
 - (1) 審査基準のうち、研修番号1～11については2点以下を4つ以上、研修番号12については2点以下を3つ以上つけた委員が1人以上いる提案は、選考対象から除外する。
 - (2) (1)を除外した上で、研修ごとに2の採点結果の合計点数が上から5位以内の提案を選ぶ。
 - (3) (2)で選んだ提案について、順位付けしたものを選考結果とする。

選考結果について「選定委員会」において意見を聴取し、各委員の合計点数により最終結果を取りまとめる。

なお、最終結果において複数の提案者が同点数で並んだ場合は、次のアイウエオの順により順位付けを行い、差がついた時点で最終決定することとし、それでもなお、同点数で並ぶ場合は、くじ引きにより決定する。

研修番号1～11

- ア 審査項目のうち、「研修目的及び仕様書との整合性」の点数が最も高い者
- イ 審査項目のうち、「企画内容の創造性・有効性」の点数が最も高い者
- ウ 審査項目のうち、「実績」の点数が最も高い者
- エ 審査項目のうち、「実施体制」の点数が最も高い者
- オ 経費見積額が最も安価な者

研修番号12

- ア 審査項目のうち、「仕様書との整合性」の点数が最も高い者
- イ 審査項目のうち、「創意工夫・有効性」の点数が最も高い者
- ウ 審査項目のうち、「ユーザビリティ」の点数が最も高い者
- エ 審査項目のうち、「実施体制」の点数が最も高い者
- オ 経費見積額が最も安価な者

【審査項目・審査基準】

審査項目及び審査基準は次のとおりとする。

研修番号 1～11

《研修目的及び仕様書との整合性》

- ① 本研修の目的に整合した企画内容となっているか。
- ② 仕様書に整合した研修企画書となっているか。

《企画内容の創造性・有効性》

- ③ 企画内容が創造性に富み、受講者の知識やスキルの向上に役立つものとなっているか。
- ④ 専門講師ならではの効果的な手法や技法を的確に盛り込んだ研修企画書となっているか。

《実績》

- ⑤ 講師は、本研修に関して豊富な研修実績を有しているか。

《実施体制》

- ⑥ 研修の実施に当たり、信頼できる実施体制が確保されているか。

研修番号 12

《仕様書との整合性》

- ① 仕様書に整合した提案となっているか。

《創意工夫・有効性》

- ② 研修目的を達成するために、提供する講座内容や講座の提供方法等について、学習意欲の促進や知識の定着にかかる工夫があるか。

《ユーザビリティ》

- ③ 受講者にとって、ユーザビリティ（見やすさ、使いやすさ、講座の見つけやすさ等）が高いか。
- ④ 管理者にとって、ユーザビリティ（受講者・講座管理のしやすさ、使いやすさ、見やすさ等）が高いか。

《実施体制》

- ⑤ 信頼できる実施体制が確保されているか。

【審査基準点】

審査基準点は次のとおりとする。

	審査基準点
非常に的確・非常に効果的・非常に優秀	5
的確・効果的・優秀	4
普通	3
やや不十分	2
不十分	1

【配 点（100 点満点）】

配点は次のとおりとする。

研修番号 1～11

審査項目	審査基準	審査基準点	ウェイト	配点
研修目的及び仕様書との整合性	①本研修の目的に整合した企画内容となっているか。	5	× 4. 0	2 0
	②仕様書に整合した研修企画書となっているか。	5	× 4. 0	2 0
企画内容の創造性・有効性	③企画内容が創造性に富み、受講者の知識やスキルの向上に役立つものとなっているか。	5	× 4. 0	2 0
	④専門講師ならではの効果的な手法や技法を的確に盛り込んだ研修企画書となっているか。	5	× 3. 0	1 5
実 績	⑤講師は、本研修に関して豊富な研修実績を有しているか。	5	× 2. 0	1 0
実施体制	⑥研修の実施に当たり、信頼できる実施体制が確保されているか。	5	× 3. 0	1 5
合 計				1 0 0

研修番号 12

審査項目	審査基準	審査基準点	ウェイト	配点
仕様書との整合性	①仕様書に整合した提案となっているか。	5	× 5. 0	2 5
創意工夫・有効性	②研修目的を達成するために、提供する講座内容や講座の提供方法等について、学習意欲の促進や知識の定着にかかる工夫があるか。	5	× 5. 0	2 5
ユーザビリティ	③受講者にとって、ユーザビリティ（見やすさ、使いやすさ、講座の見つけやすさ等）が高いか。	5	× 4. 0	2 0
	④管理者にとって、ユーザビリティ（受講者・講座管理のしやすさ、使いやすさ、見やすさ等）が高いか。	5	× 3. 0	1 5
実施体制	⑤信頼できる実施体制が確保されているか。	5	× 3. 0	1 5
合 計				1 0 0